



# 原高同窓会会報

題字は前同窓会会長門馬直孝氏

3月1日 木曜日  
平成 24年 (2012年)

発行所  
福島県立原町高等学校  
同窓会  
福島県南相馬市原町区西町 3-380  
電話 (0244) 23-6196  
印刷所 有限会社愛原印刷所



本日、福島県立原町高等学校 第六十四回卒業証書授与式が挙行されます。  
新たに会員となる二四二名、並びに他校に転学して卒業を迎える九十二名の皆様のご活躍を心からお祈りします。

「つつし世の嵐に負けず  
一四二名が卒業」

## 祝ご卒業



## 「色あせぬ想い」

校長 八巻 義徳  
(第 22 回卒)



昨年とは忘れられない一年でした。その間、同窓会の皆様方には、例年のご支援に加えて、多大なご心配とご寄付をいただきました。この紙面をお借りして、心から感謝申し上げます。

本校所在地は被災地となり、多くの生徒と教職員も被災者となりました。それぞれが複雑な思いを抱えながら、日常を取り戻す努力を続けて参りました。その思いを互いに受け止め、一緒に泣いて、一緒に笑って、一緒に立って、一緒に歩み、一緒に前を向いて歩んできました。そして、今、一緒に上を向いて進んでいます。これも、生徒たちの気持ちの強さと懸命に生き抜く地域の力、そして多くの団体、個人の皆様方からいただいたお励ましのお陰と重ねて申しあげます。

今、二〇一二年を迎え、改めて、学校には多くの幸いが

あることを実感します。学びに集中できる環境、部活動に熱中できる場所、音楽や美術などの創造的活動に没頭できる時間、そして多くの友と師との出会いと語り合いがあります。生徒と教職員が一緒に、成長と変化を実感し、明日の自分を予期できる日々があります。

戻すことができず、数十年を瞬時に飛び越えます。それが、すばらしい日々であればあるほど、楽しい想いであればあるほど、蘇ります。いつまでも色あせぬまま、鮮やかに取り戻せます。そんな輝くような同窓生を送り出します。先輩同窓生の皆様の継続的なご指導を心よりお願い申し上げます。



同窓会会長  
渡辺 一成  
(第十四回卒)

## 「重荷を負って 遠き道を行く」

晴れて卒業証書を手にした皆さん。卒業おめでとう。昨年あの震災と原発事故によって多くの仲間が転校し、本校の卒業証書を手にしたのは一四二名となりました。

皆さんは何十年経っても、千年に一度と言われる東日本大震災と先進国で初めて原発の過酷事故が起こりサテライト方式の授業が行われた状況の中で卒業式を迎えたことを忘れることは出来ないだろうと思います。

昨年の本校部活動や夏の高校野球応援が同窓会東京支部の皆さんから寄せられた多額の義援金で支えられたことも忘れないでほしいと思います。

皆さんのご健勝とご活躍をお祈り申し上げ、お祝いの言葉といたします。

世界の中の人々がヒロシマ、ナガサキ、チェルノブイリを忘れないように、フクシマも忘れないでほしい。私たちはこのような事態に直面したことを不幸なことではありませんが、そこから何を学び生かしていくかが問われます。津波で亡くなられた方々の遺体捜索に自衛隊、警察、消防などが携わりました。避難生活の中で多くの人が支え合いました。

皆さんがこれからのような人生を歩まれるか、前途にどのような難題が待ち受けているか、誰にも分かりませんが、分かりますがそのような人生を生きていくか考え方を私には徳川家康の言葉を贈りたいと思います。

平成24年度同窓会総会は現在のところ開催未定です。決まり次第原町高校ホームページ(<http://www.haramachi-h.fks.ed.jp/>)でお知らせします。  
お問合せ 同窓会事務局  
0244-23-6196